

平成 30 年度第 1 回鏡ヶ池会役員会議事録(案)

日 時：平成 30 年 4 月 27 日（金） 17:30～19:00

場 所：名古屋大学東山キャンパス 工学研究科 8 号館 210 号室（土木工学専攻大会議室）

出席者：桑田(東京支部長), 仙田(関西支部長), 酒井(名簿・web 担当), 山田(しゃち担当), 柿元(しゃち担当), 趙(留学生担当), 井料(女子の会担当), 池田(1 期), 高瀬(2 期), 南川(3 期・代理青木), 大澤(4 期), 遠山(5 期), 加藤(7 期・代理近藤), 寺島(8 期), 伊藤(11 期・会長), 田中(13 期・会計監事), 向井(15 期), 大東(16 期・代理森川), 伊東(20 期), 後藤(21 期), 加藤(22 期), 中野(24 期), 野田(25 期), 石川(27 期), 川崎(29 期), 萩野(30 期), 石川(31 期), 水野(32 期), 三輪(34 期), 田代(35 期・幹事長), 中井(36 期・副幹事長), 山本(38 期・会計担当), 中村(39 期・会計), 渡邊(40 期), 奥岡(44 期・名簿), 吉川(46 期・会計), 石黒(52 期・代理鈴木), 中川(53 期・学生会会長), 根橋(53 期), 朝隈(54 期), 大橋(54 期), 加古(4 年幹事), 菱川(4 年幹事)
出席者数 43 名

■役員会に先立ち, 3 月 25 日に逝去された浜嶋鉦一郎氏(関西支部長)を偲んで黙祷が捧げられた。引き続き, 会長からのあいさつ, および, 各幹事から自己紹介(資料 30-1-0)があった。

報 告

1. 会計報告(資料 30-1-2, 30-1-3) (中村友)
 - ・ 名簿・しゃちの印刷代, 総会・講演会補助費など, 会計の内訳, 概要が説明された
 - ・ 留学生活動支援のうち 5 万円は後援基金からの支出分であり, 後日清算する予定。
 - ・ 今年度は 5 期がプレミアム会員となる。
 - ・ 全体の会費納入率は 45.5%と, 未納者の割合が年々高くなっている。
 - ・ 例年は, 年度末に自動引落するとともに, 振込用紙の送付を行っていたが, 次回(今年度)からは名簿・しゃちの発送と同時期(12 月頃)に行うこととなった。
 - ・ かつて実施していたように, 次回秋季の幹事会には, 各期における会費未納者一覧情報を幹事に配布することとなった。
 - ・ 会費納入状況報告に関する図表(資料 30-1-3)について, 各期から物故者数の記載ミスに関する指摘があった。
2. 後援基金報告(資料 30-1-4) (三輪)
 - ・ 29 年度の会計報告がなされた。
 - ・ 英文ニュースレターについて, 今年から印刷配布を廃止し, メール添付で配送している旨, 紹介があった。

3. 支部活動報告

1) 東京支部 (資料 30-1-5)

(桑田)

- ・平成 29 年支部総会について、11 月 17 日 (金) @四ッ谷主婦会館にて、116 名の参加者を得て盛大に開催された旨、紹介があった (本部および教室から、伊藤名誉教授・会長 (11 期)、中村教授 (23 期)、田代特任教授・幹事長 (35 期) が出席)。20 代後半から 30 代の出席率を上げることを、講話 (今回講師: 平井氏 (16 期)) を聴講する人を増やすことを課題として改善を図っていく。
- ・本部役員会への出席、支部幹事会の開催、全学同窓会関東支部への参画、支部会計状況 (平成 29 年度完了&平成 30 年度計画) などが報告されるとともに、平成 30 年度は、平成 29 年度の鹿島建設から幹事会社に変更となり、桑田支部長 (20 期) 始め、大成建設勤務の卒業生により運営される旨、紹介があった。
- ・平成 30 年支部総会は、11 月 16 日 (金) @四ッ谷主婦会館にて開催される予定である旨、紹介があった。

2) 関西支部 (資料 30-1-6)

(仙田)

- ・平成 29 年度後期の活動状況について、9 月 29 日 (金) @がんこ阪急通り店にて支部大会 (参加者: 23 名、例年よりやや多い)、11 月 17 日 (金) @がんこ阪急通り店にて関西銀シャチ会 (参加者: 13 名) を実施した旨、同年度の会計報告とともに紹介があった。全学同窓会関西支部幹事会にも積極的に参加中であるほか、幹事会も開催した。
- ・浜嶋前支部長逝去に伴って仙田支部長 (23 期)、吉野幹事長 (22 期) ほか 7 名の体制で運営していく旨、説明された。
- ・平成 30 年度の活動計画として、例年通り、企画・実施していく方針が紹介された。

4. 教室近況報告 (資料 30-1-7)

(中村光・代理田代)

- ・4 月 1 日付で構造・材料工学講座 (構造解析学・鋼構造学) に加藤準治教授が着任されたほか、水谷教授 (19 期) が工学研究科長に就任された旨、紹介があった。

5. 学生会活動報告 (資料 30-1-8)

(中川)

- ・平成 29 年度後期の活動として土木展、研究室対抗ソフトボール大会、土木系運動会、土木懇親会、卒業記念パーティー、卒業アルバム制作についての報告があった。
- ・今年も土木懇親会が行われ、大変好評であった。
- ・ソフトボール大会では、学部 2 年生もチームを編成して参戦するなど、合計 102 名の参加者を集め盛況の中で執り行われ、地盤研が優勝した。
- ・昨年に引き続き卒業アルバムの制作を行い、大変好評であった。
- ・今後も、学生会には学部 2, 3 年生にも参加を呼び掛け、つながりを強めていきたい。
- ・平成 29 年度卒業記念パーティー、および、同年度事業の会計報告があり、平成 30 年度の予算案が説明された。

6. 女子の会活動報告 (資料 30-1-9)

(井料)

- ・平成29年度第1回懇親会（1月15日（月）開催，教員2名含む15名参加）について報告が行われた。
- ・教員も含め，学生生活，就活・大学院入試などを話題として歓談が繰り広げられた。
- ・平成30年度も新2年生として3名加入する見込みであり，今後も活動を継続していく旨，紹介があった。
- ・今回は「顔合わせ程度」だったが，次回からはOGにも参加してもらい，ライフワークなど女子ならではのディスカッションを行えるようにしたい。
- ・

7. 留学生関連活動報告（資料 30-1-10）（趙）

- ・発行された「しゃち」No.57に基づき Alumni Newsletter Issue No.7を作成し，在學生を含む計268名に対し，平成29年12月にメール配信した旨，紹介があった。この際，名簿住所調べと鏡ヶ池会の英語案内文を併せて配信した。
- ・12月8日（金）に大学院を修了して日本で働く留学生OBを招いて企画，開催した，Tea Chat Partyの報告があった。
- ・平成30年度の活動計画が紹介され，昨年度同様「しゃち」No.58に基づき Alumni Newsletter Issue No.8を発刊する予定であるほか，5月にTea chat party，9月にFarewell party，10月にWelcome partyの開催に対する支援が求められた。審議の結果，歓送迎会に対する支援として，本会会計から5万円，基金から5万円を支援することとなった。ただし，従来通り，Farewell PartyとThe Chat Partyを併せて企画することで効率化を図ることとなり，予算が不足する場合は出席者などの数をまとめて報告することとした。
- ・これまでと同様，留学生のチューター（主として日本人学生）が空港に迎えに行くときの交通費に対する補助は継続することとなった。

8. 土木事業に関する談話会・マナーセミナー開催報告（資料 30-1-11）（田代）

- ・12月9日（土）に実施した土木事業に関する談話会（40名出席），1月18日（木）に実施した就職面接マナーセミナー（60名出席）について報告があった。
- ・マナーセミナーへの出席者が例年並みであった一方，談話会への出席者が例年よりも少ないのはインターンシップなどが重なったためであるとの説明があった。

9. 国家公務員試験対策（資料 30-1-12）（中井）

- ・平成29年4月15日（土）に行われた一次試験模試（17名参加），国家公務員による説明会（7名参加），懇親会（学生8名，国交省2名，教員5名）について報告があった。
- ・教員による二次試験対策ゼミも同年5月下旬に数回実施し（参加者4名程度），同年10月4日（水）には，国家公務員との談話会／懇親会を実施し，それぞれ71名／22名が参加した旨，紹介があった。
- ・平成30年度の受験に向けて，前年度後期月曜5限に自主ゼミを開講し，4月14日（土）には昨年同様，一次試験対策模試（23名参加）と説明会／懇親会（20名／22名参加）を実施した。
- ・近年の受験者数，合格者数について報告があった。平成29年度は1次試験合格者数がや

や少なかったものの（12名）、2次試験合格者数は平年並み（7名）であった。ただし、ここ2年は他業種へ就職することが多く、官公庁への就職者が見られていない。

- ・平成30年度は、国家公務員を第1志望にしている学生がいるため、就職する学生が出てくるかもしれない、との見通しが示された

10. その他

- ・島田名誉教授の米寿会が、6月1日（金）18時半@名鉄グランドホテルに開催予定である旨、紹介があった。
- ・各期で予定されている周年同期会が紹介された：4期生50年会（6月）、24期生30年会、44期生10年会など。
- ・10月20日（土）に予定されているホームカミングディヤ、名大カード（資料30-1-18）の紹介があった。

議 事

1. 役員・幹事の変更（資料30-1-0）（田代）
 - ・支部担当（東京）が桑田尚史氏に、支部担当（関西）が仙田信生氏に変更となった。
 - ・教員幹事が中村光教授に、学生会会長が中川晃太氏に変更となった。
 - ・7期幹事が加藤雅史氏、40期幹事が渡邊尚彦氏、52期幹事が石黒裕崇氏に変更となり、4年幹事として加古陽子氏、菱川貴之氏が加わった。
 - ・大学院博士課程前期課程在籍中の幹事について、従来通り2名配置するが、大学院からの入学者増に対応するスムーズな連絡体制の構築を目指し、所属研究科（工学・環境学）ごとの担当制を試行することとした。
 - ・役員会への出席率が低い幹事（目安として2年間、役員会に不参加、*付記）について、交代を働き掛けていく方針について説明された。今後も該当者は明記していく。
2. 平成29年度第2回鏡ヶ池会役員会議事録（案）（資料30-1-1）（田代）
 - ・平成29年度第2回鏡ヶ池会役員会議事録が承認された。
3. 鏡ヶ池会名簿No.53編集作業の総括とNo.54の編集方針（資料30-1-13）（奥岡）
 - ・名簿No.53については、前号までの編集作業と同様、事務員に作業を担当いただき、CD化の過程も含め、例年通りのスケジュールで送付に至ったことが報告された。
 - ・会員総数が増えているのに対し、発送できた数が前年度よりも減少するなど、自宅住所不明な会員が増加している印象。各期幹事のみなさまには益々のご協力をお願いしたい。
 - ・No.53について、今回、試行的に50冊子作成した。名誉教授に寄贈するとともに10名から購入希望有。残部（24部）は同窓会室保管分（2部）以外、可能な限り希望者に販売するが、さらに余った分については土木系事務室と各講座に配布することとなった。これを踏まえ、No.54については、配布数と購入希望数を合わせ、40冊作成することとした。
 - ・名簿No.54については、例年通りのスケジュールでの編集・発行を予定している。については、8～10月にかけて各期の幹事の方々にデータ修正を行っていただきたく、協力要請

があった。

- ・ 物故者に関するご家族連絡先の名簿記載について、死去後 2 年目以降、削除いただきたいとの申し出があったことが紹介された（なお、現在、物故者のご家族には名簿 CD 等を送っていない）。審議の結果、原則は掲載を継続も、ご遺族のご要望、幹事の判断に応じて対応することとした。

4. 「しゃち」No.59 編集方針（資料 30-1-14）（山田・代理田代）

- ・ 特集記事（伊藤義人先生退職記念）を含めた構成・目次案が示され、承認された。
- ・ なお、前号 No.58 からは自由寄稿の追悼文だけでなく、物故者リストを載せるようにしたことが紹介された。
- ・ 銀シャチが休刊していることに伴い、希望者からの寄稿の受け皿となるべく、皆さんからの原稿を募集している旨、改めて紹介があった。

5. 鏡ヶ池会のサーバについて（広報）（資料 30-1-15）（酒井）

- ・ ウェブサイトのほか、フェイスブックを作成し、情報を公開している旨、紹介があった。
- ・ 役員体制の更新に伴って準備していた、メーリングリストの更新が遅れていることへの謝罪があった。
- ・ 各期独自のメーリングリストを作りたい場合は、希望さえあれば作成すると案内があった。
- ・ サーバー・ドメインの管理費について、平成 24 年 6 月から契約使用中の「お名前.com」の共用サーバとドメインについて、引き続き、契約延長して使用継続したい旨、提案があり、審議の結果、これを認めることとなった。なお、サーバーレンタル料：年間 16,848 円、迷惑メールフィルター：年間 1,296 円、ドメイン管理費：年間 4,309 円の各費用が発生することとなる。

6. 第 28 回総会について（資料 30-1-16）（田代）

- ・ 6/8(土)野依記念館にて総会を 18：30～、2 階カンファレンスホール、懇親会を 1 階会議室にて、総会終わり次第、執り行う予定である旨、紹介があった。なお、懇親会では趣向を変え、ビンゴゲーム大会を織り込む方針が示された。
- ・ 例年は 7 月の開催であることから、日程と場所についてなるべく早く各期幹事に伝え、情報伝達してもらうことが重要であるとする意見があった。
- ・ 次回からは、早期に、できれば、秋の役員会で概略を決めて早く周知した方が良いとする意見が出され、これが承認された。

7. 会則変更のお願い（資料 30-1-17）（中井・田代）

- ・ 名簿とウェブサイトに掲載の会則において、学科、コース、プログラムなどの名称が組織変更に従っていない面が見受けられることから、次回幹事会にて提示される修正案を踏まえ、表記の調整を図っていくこととなった（旧地盤工学専攻が書かれていない、現在の専攻名ともなっているため、旧土木工学専攻との表記は不要、など）。

- これまでは会費について明記されていなかったため、別表やただし書きなどにおいて、会員種別を明記するとともに、会費についても明記する方向で調整していくこととなった（会則を大幅に変えることはしない）。

以上